

〔史料〕

ドイツ中世商人の日記の邦訳（7・完）

「ルーカス・レームの日記」（1494 1541年）

山本 健*

Translation of a Medieval German Merchant's Diary (7) — *Tagebuch des LUKAS REM aus den Jahren, 1494–1541* —

Takeshi YAMAMOTO

邦訳 ルーカス・レームの日記（1494 1541年）
アウクスブルク市の商業史への寄稿（1861年）、B・グライフ編

— 日記の目次（1～110ページ） —

| | |
|---|---------|
| 編者の序言 | S. ~ XX |
| 第1章 私の両親の出生と結婚式そして〔それ以外の〕若干の情報 〔ルーカス・レーム3世の家系図の紹介〕 | 1～4ページ |
| 以上、第10号（2002年11月）掲載 | |
| 第2章 私の誕生、人生そして頻繁な長期にわたる旅行（商旅） | |

*やまもと・たけし：敬愛大学国際学部助教授 ドイツ中世史
Associate Professor of German Medieval History, Faculty of International Studies,
Keiai University.

第1節 ルーカス・レームの誕生と子供時代：1481 ~ 1494年

第2節 ルーカスの青春期（商業見習いの時代）：1494 ~ 1499年

第3節 ヴェルザー商会の社員時代：1499 ~ 1517年

(A) リヨン支店時期 1499 ~ 1503年

(B) ポルトガル滞在期間 1503 ~ 1508年

(C) 再契約後の煩多な1年間 1509年

以上、第12号（2003年11月）掲載

(D) アウクスブルク本店への帰路の旅 1510年

(E) アントウェルペン支店時期 1511 ~ 1517年

(F) 退職をめぐるヴェルザー商会との揉め事 1517 ~ 1518年

第4節 ルーカス・レーム商会の最高経営者時代：1518 ~ 1541年

(A) ルーカスとアンナ・エカインとの結婚 1518年

(B) 新会社レーム商会の設立と営業活動 1518 ~ 1540年

第5節 ルーカスの晩年期（大病と湯治療養）：1521 ~ 1540年

(A) 1521年〔40歳〕の大病とカルプでの湯治療養

(B) 1524 ~ 25年〔43 ~ 44歳〕の大病

(C) 1529 ~ 30年〔48歳〕の大病

(D) 1535年〔54歳〕の大病

(E) 1540年〔58歳〕の大病

以上、第13号（2004年6月）掲載

第3章 財産覚書き

30 ~ 42 ページ

第1節 母親からの譲渡財産総額

第2節 ヴェルザー商会時代の決算書から見た収益率

(A) リヨン支店時代 1498 ~ 1511年

(B) アントウェルペン支店時代 1511 ~ 1517年

第3節 ルーカス・レーム商会時代

(A) 新ルーカス・レーム商会の設立経緯

(B) レーム商会に対するルーカス・レーム個人の投資額と利益率、

そして資産額の増加

以上、第14号(2004年12月)掲載

第4章 私の婚約と結婚、支出、贈与物 43～51ページ

第1節 婚約と結婚の1518年

第2節 結婚衣装費用

(A) 新郎の結婚衣装費用

(B) 新婦の装身具と結婚衣装費用

第3節 結婚式での引き出物とその送り先

(A) 新郎側からの引き出物とその送り先

(B) 新婦側からの引き出物とその送り先

第4節 結婚式および披露宴での飲食費と領主からの高価な祝儀(鹿)

(A) 飲食費

(B) 私への高価な祝儀(鹿)とその贈り主

第5節 結婚式に関する見積もり諸経費

第6節 私が受け取った結婚財産と妻の相続財産

(A) M・エカインから供与された財産額

(B) エカイン家の財産分割と妻の取り分

第7節 祝儀覚書き

第5章 親族たちの結婚式などで贈った祝儀とその贈り先

52～55ページ

以上、第15号(2005年7月)掲載

第6章 若干の終身年金、不動産、相続財産そして購入財産

56～63ページ

第1節 終身年金(ライブゲディング)

(A) フォン・ディンハイム夫婦への終身年金支払い義務

(B) その他の終身年金支払い義務

第2節 ギルク・レームの息子の土地財産をめぐる相続問題

第3節 私が相続ないし購入した3農場の経済状態

第4節 キッシンゲン村での土地取得過程と同農場の経済状態

(A)キッシンゲン村での土地取得過程

(B)キッシンゲン村の農場の経済状態

第5節 その他の購入財産について

第7章 私の5人の私生児、その一部 64 ~ 65 ページ

第8章 私の嫡出子の誕生 66 ~ 70 ページ

以上、第16号(2005年12月)掲載

第9章 ルーカス・レーム商会の社員とその契約雇用期間

71 ~ 72 ページ

第10章 納税 73 ~ 76 ページ

注記 77 ~ 110 ページ

索引

以上、本号

(注記) 訳文の〔 〕内の日本語は、理解を容易にするために訳者が補充したものであり、()内は原語である。

各章内の小見出し(節)も、同様な趣旨から訳者が書き加えたものである。

(注)は重要な内容のもののみを原注から選び、通し番号を付けた。また、原文にはないが、必要と思われる関連文献も(注)に記載した。

原文の巻末(77 ~ 110ページ)に一括して付されていた注記は、本邦訳では、各章ごとの末尾に記した。

原文にはない索引(人名、事項そして地名・国名)を、本邦訳の第10章の末尾に独立した形式で新たに作成・付記し、掲載分冊番号とページ数を記した。

第9章 ルーカス・レーム商会の社員とその契約雇用期間

[S.71]

† イエス・マリア †

社員名 (diener)

雇用契約⁽¹⁾期間

1. マルティン・フランツ⁽²⁾ 1518年9月1日から10年間

(Martin Frantz)

2. クリストフ・エカイン⁽³⁾ 1519年5月1日から9年間

(Cristoff Echain)

3. ジョルク・ヘルヴァルト
(Jerg Herwart) 1519年3月8日に、期間を定めず
雇用
4. ジェロニムス・シュルツ
(Jeronymus Schultz) 1519年10月1日から4年間と2年
間
4年契約と2年契約に区切られて
いる。
5. ラークス・ハンス・レーム
(Laux Hans Rem) 1519年9月22日から8年間
6. ヤーコブ・オットー
(Jacob Otto) 1519年10月24日から8年間
7. ウルリヒ・エッキンガー
(Ulrich Echinger) 1520年2月22日から3年間
ただし、彼はリスボンに行っ
たので、〔実際には〕4月1日か
ら雇用された。
8. ジョルク・エカイン⁽⁴⁾
(Jerg Ochain) 彼は1520年以降、同商会に在籍
し、アントウェルペン、ニュルン
ベルク、ヴェネツィア、アドラー
(Adler)そしてアウクスブルクで働
いた。私たちは彼と雇用契約を取
り交わしているわけではなく、そ
れゆえ彼は義務を負わない。私た
ちは彼を親族関係(Fraintschaft)の
故に雇った。
9. ハンス・パウル
(Hans Paur) 1520年1月1日から12年間
彼はニュルンベルク出身であ
る。
10. ヤーコブ・クラフト
(Jacob Kraft) 1523年3月1日から10年間
彼はウルム出身である。
11. アントーン・ホノルト2世⁽⁵⁾ 1524年1月1日から9年間

(Anton Hanolt jung)

12. マルクス・ハルトマン 1524年9月1日から12年間
(Marx Hartmann) 彼はウルム出身である。
13. バスティアン・ポルナー 1526年2月1日から12年間
(Bastian Polner) 彼はランツフト (Landshut) 出身である。
14. ハンス・シュテックリン 1528年1月1日から12年間
(Hans Stecklin) 彼はウルム出身である。
15. メルヒアー・シュヴァルツ 1528年5月1日から10年間
(Mercher Schwartz) 彼は当地 (アウクスブルク) 出身である。
16. ハンス・エッキングー 1530年1月1日から10年間
(Hans Echinger) 彼は当地 (アウクスブルク) 出身である。

[S.72]

17. マテウス・ハウク 1531年4月1日から11年間
(Mattheus Haug) 彼は当地 (アウクスブルク) 出身である。
1. マルティン・フランツ 2度目の契約
1528年9月1日から6年間
18. アントーン・フンク 1532年8月1日から12年間
(Anton Funck)
19. アントーン・フォン・ボンベルガ 1528年7月1日から3年間と
(Anton von Bomberga) 1533年1月1日から4年間
彼は2度の雇用契約を締結
1. マルティン・フランツ 3度目の契約
1533年1月1日から1年間
1年間と短いのは、子供が死亡したため。

- | | |
|---|---|
| 20. ペーター・ゼードルモール (Peter Sedlmor) | 1533年7月1日から12年間 彼は当地(アウクスブルク)出身である。 |
| 21. レーンハルト・ホフマン (Lenhart Hofmann) | 1534年1月1日から5年間 ⁽⁶⁾ 彼はニュルンベルク出身である。 |
| 22. ベルンハルト・マイヘル (Bernhard Meichel) | 1534年2月1日から10年間 彼はアントウェルペン出身である。 |
| ジークムント・レーム (Sigmund Rem) | 1533年11月7日に雇用契約を結ばずに参加(on verschreibung) 彼は当地(アウクスブルク)出身である。 |
| 23. ヴァレンティン・メルス (Valentin Mörz) | 1536年1月1日から12年間 彼は当地(アウクスブルク)出身である。 |
| 13. パスティアン・ポルナー | 2度目の契約 1536年1月1日から7年間 |
| 24. ジョルク・リープナウアー (Jerg Liebnauer) | 1537年3月1日から12年間 彼はブラウナウ(Braunau)出身である。 |
| 25. ハンス・ハルトリーブ (Hans Hartlieb) | 1540年1月1日から9年間 彼はメミンゲン(Memmingen)出身である。 |

[編者グライフの] コメント

これまでルーカス・レーム商会の社員たちについて述べてきたが、更に、25番目の社員を私は承知している。その社員はメミンゲン出身のハンス・ハルトリーブである。彼は1540年の1月1日に、9年間の雇用契約で同商会

に雇用された人物である。彼はほとんどアントウェルペン（Antorf）に駐在していた。このアントウェルペンには、アントーン・ボンベルガ（上記の社員19.）とバスティアン・ボルナー（上記の社員13.）がレームの代理商として働いていた。

このハンス・ハルトリーブの日記 この日記はハルトリーブ博士（Dr. v. Hartlieb in Memmingen）が所有 によると、彼はレーム商会のために、主に貴金属の取り引きに係わっていた。

1543年に彼はヴェネツィアに赴き、ジョルク・ウッティンガー（Jorg Uttinger）から商業帳簿と現金（Bucher u. Cassa）を引き継いだ。彼は〔ヴェネツィアのリアルト橋のたもとにある〕ドイツ人商館（fondaco dei tedeschi）内の彼の主人〔ルーカス・レーム〕の部屋に滞在していた。

1544年、彼はルーカス・レームの長女マグダレーナと結婚した（1544年12月16日）⁽⁷⁾。彼は、その際、花嫁に莫大な贈り物をしている。これらの贈り物について、彼は『日記』に詳細に書き留めていた。その金額は991グールデン（fl.）54クロイツァー（kr.）である。

（注）

- (1) 社員の雇用契約に関する「雇用契約帳簿（Vertrag-gesellschaft buoch）」の指摘（第3章「本誌」第14号、2004年、116ページ）から、この帳簿が存在していたことは類推できるが、「雇用契約帳簿」の詳細な内容は不明である。「日記」の第9章には、本文のように簡略に記録されているだけである。
- (2) 彼については、第4章の注（21）「本誌」第15号（2005年）、225ページを参照のこと。
- (3) 彼はルーカス・レーム4世の妻方の義兄弟である（第1章「本誌」第10号、2002年、154ページを参照）。
- (4) 彼もルーカス・レーム4世の妻方の義兄弟である（第1章「本誌」第10号、2002年、154ページを参照）。
- (5) ホノルト家については、第4章の注（25）「本誌」第15号、2005年、225ページを参照のこと。
- (6) レーンハルト・ホフマンの雇用された年月日は、第2章「本誌」第13号（2004年）、129ページの叙述（1533年5月22日）と異なる。
- (7) 彼とマグダレーナの結婚については、第8章「本誌」第16号（2005年）、110ページを参照のこと。

第10章 納 税

[S.73]

イエス アウクスブルク市にて

以下では、私がどのように、さらにどのくらい自分の財産 (Hab u. Gut) を誓約〔して、自己申告による〕租税 (geschworen Steuer) 以下、誓約租税と略記 額でもって算出、評価、そして納税したかを、さらに誠実に、底意なく精査したのかをすべて記す。

〔A〕独立以前の納税

1516 ~ 18年〔35 ~ 37歳〕 納税額：各年、37.5グルデン (fl.)

1516年に誓約租税〔義務〕が生じた。それは、私がアントーン・ヴェルザー商会 (Anton Welsler u. Gesellschaft) に私の財産7,500グルデンを投資したからであった。その税額は37.5グルデンである⁽¹⁾。この金額を私は1516、17、18年の3年間、毎年納税した。また18年〔5月30日〕に私は〔アンナ・エカインを〕妻に迎えた。

〔B〕独立以後の納税

ルーカス3世は、1518年9月1日にルーカス・レーム商会を設立し、独立した。その際の中心人物は、ルーカス・レーム本人と彼の2人の兄弟アンドレアス (兄・長男) とハンス (弟・三男)、そして経営顧問〔兼資金提供者〕たるウルリヒ・ホノルト (Ulrich Hanolt) とジヨルク・マイティングの5人であった⁽²⁾。

1519 ~ 21年〔38 ~ 40歳〕 納税額：各年、56.5グルデン

私の妻〔の納税額〕に関して、〔さしあたり、彼女の〕伯父のマルクス・エカインが19グルデンを納税した。私は、その代納金〔19グルデン〕と次の3年間、すなわち1519、20、21年の私の納税額として〔毎年〕56.5グルデンを納税した。〔納税額を〕算出するというほどのことでもなかった⁽³⁾。

1522 ~ 26年〔41 ~ 45歳〕 納税額：各年、58グルデン

1522年に誓約租税〔義務〕が生じた。それは、私が私の2人の兄弟たち、そしてウルリヒ・ホノルトと昨年〔1521年〕の年末に総決算を行ったためであった。その決算で明らかになった事は、負債金〔貸付金〕が

埋め合わ〔返却〕された場合には、私には全体で1万3,500グルデンを手にする権利があり、またその金額も至当である、ということであった。この収入に対して、私が〔本来〕納税すべき金額は、それを算出すると、67.5グルデンになる。

しかし、この頃、我がレーム商会は、3年前に皇帝陛下〔カール5世に選挙費用⁽⁴⁾として貸付、そ〕の取立てに失敗した（verfallen）貸付金をめぐって、ヤーコブ・フッガー〔フッガー商会〕⁽⁵⁾と相殺した。我が商会の〔不良債権〕額は1万8,310グルデンである。また私個人の〔不良債権〕
[S.74]

額は底意なく5,500グルデン〔ルーカス商会の30%強〕だけであり、それ以外の金額は一切ない。

スペインでは〔貸付金は個々の債権者に〕返済されているとのこと。しかし、スペイン〔特に、カスティーリャ地方の諸都市〕では〔1520～21年に、都市の自治を抑圧する〕皇帝陛下〔カール5世〕に対する民衆〔平民（Gemein）〕の大きな暴動〔コムネーロスの乱（das gros uff-glaf）〕⁽⁶⁾が発生していたので、我が商会はこれ以上、〔皇帝からの追加融資の要請に〕応じなかった。〔そのためか〕皇帝側は我が商会に2年半もの間、一銭も返済しなかった。そのため〔不良債権化した貸付金の〕総額は、〔利子が付いたせいもあってか〕さらに〔破産を連想させる〕危険な巨額（gross-er gefar）に達した〔程であった〕。

1524年になってようやく我が商会も〔貸付金の返済が〕保証され、そして1526年から29年にかけて〔実際に〕返済された。〔しかし、これと引き換えに〕私は私個人の貸付金額〔すなわち、5,500グルデン〕のほぼ半分ないしそれ以下の金額を、さらに追加融資する羽目になった。しかし、私〔個人として〕は皇帝との〔これ以上の〕深い〔金銭的な〕係わりを避けるために、上記の皇帝〔カール5世〕へ〔追加融資した〕私の貸付金額を〔以下のような〕誓約租税額にまで減額した。このため、私は世間〔王室などの上流社会〕（die Welt）〔との付き合い〕を差し止められて〔失って〕しまった。

減額された税額は、9.5 グルデンである。残りの税額は58〔 = 67.5 - 9.5〕グルデンである。〔この額は〕上記のごとく、大きな不安や冒険〔危険〕を伴う〔皇帝への追加融資金〕を除いた金額である。

私はこの58 グルデンの金額を、1522年から26年までの5年間⁽⁷⁾納税した。すなわち、誓約租税の義務が生じた時、私の納税対象となる財産と危殆に瀕する〔皇帝への貸付金の〕総額 (bedrohter Suma) は、1万1,600 グルデンを超えない程であった。その後は長きにわたり、何と恵まれたことであろうか。それはおそらくは神の恩寵のおかげであろう。有り難きかな。

1528年〔47歳〕

当地アウクスブルク市でさらに誓約租税〔義務〕が生じた。それは、1528年の8月31日に、私が兄のアンドレアス、および兄の許に派遣された私の重要な仕事仲間 (Gesellen) ウルリヒ・ホノルトと総決算 (Hauptrechnung) を行ったからであった。その決算で明らかになった事は、私には配当金の取り分として1万7,500 グルデンを手にする権利があるということである。

この頃、私たち〔私と兄〕は我が商会を去っていった〔退職した〕ウルリヒ・ホノルト⁽⁸⁾を高くは評価できず、さらに正直者というよりも狡猾い人物のように思うようにさえなっていた。私はこれらすべてを耐え忍んだ。私たちは彼との関係を円満に解消すべく、またあらゆる事柄を何度も考慮して、〔彼と〕多くの点で見解を異にし〔紛糾〕した、悪質かつ不安感を抱かせる取り引きをもほとんど引き受けた。

ポルトガルとスペインで〔ホノルトが〕上記の皇帝〔カール5世〕へ〔貸し付けた金額〕の残額は全部で1万7,500 グルデンに達した。我が商会はこの残額を〔ホノルト自身の〕判断を誤った〔貸し付けで生じた〕、法外かつつじつまの合わない金銭と見なし、うまく処理〔回収〕できなかった。しかしながら、最終的に回収不可能と見なしていたこの疑わしい金額1万7,500 グルデンをめぐって、私は彼〔ホノルト〕個人の負担分としての1万2,500 グルデンの分割払い込み金 (Rata) を肩代わりするこ

とに同意した。さらにアントウェルペン、ニュルンベルク、ウルム、フランクフルト〔・アム・マイン〕、アードラー、スペイン、ポルトガルで
ただし、アウクスブルクを除く〔彼が作った負債（不良債権）の〕すべてを我が商会の負債 その総額は巨額である として、
私は〔失敗したらという〕不安な思いと〔何はともあれ行動をとるという〕
大胆な思いを交錯させながら、彼から引き受けた。私はこの大きな心配
〔不安〕と途轍もない大胆な〔負債の肩代わりという〕行為に対するあらゆる責任から我が身を守る〔ために、〕保険金として1,000グルデン強の大金すら、心から喜んで払い込みたいと思った〔程である〕。

[S.75]

しかし、私は〔上記のホノルトとの〕約束を遵守し、さらにその後も同様に遵守し続け、そして永遠に〔他人から〕中傷や非難を受けないために、私の配当金の取り分に関しては、あの大胆な〔肩代わり〕行為に対する〔保険金としての〕1,500グルデンを除けば、一切控除せず〔課税対象金額とした〕。

この件をめぐって、私は1532年8月20日にようやく、〔自己の良心に従い〕厳格に納税義務を果たした。納税額については、私はほとんど控除を求めなかった。私は残りの金額1万6,000〔= 17,500 - 1,500〕グルデンを〔課税対象金額として〕納税することにした。

ただし、私は、以下の〔我が商社への個人投資〕金額に対して支払い義務を負っている。

主婦バーバラ・フォン・ディンハイム・・・ 600グルデン (fl.)

彼女の夫・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 500 fl.

ルーカス・ハンス・レーム・フォン・ウルム 300 fl.

総額は1,400グルデンである。

〔それ故に、これらの金額を控除して〕私の課税対象金額として残った額は、1万4,600〔= 16,000 - 1,400〕グルデンである。

1528 ~ 33年〔47 ~ 52歳〕 納税額：各年、78グルデン

この金額〔1万4,600グルデン〕に対して、私は6年間（1528 - 33年）毎

年、納税した。〔まず〕とくに、私の現金〔動産〕に関しては、73グルデンである。

さらに、私の4カ所の農場、十分の一税、小屋地（Sölden）菜園〔などの不動産〕からの収益2,000グルデンに対する納税額は、〔不動産〕税率が0.25%（1/4 Pro C.）であるので、5グルデンである。

したがって、この6年間の納税額の各年毎の総額は、グルデン金貨で78グルデンである。

私の現金〔動産〕収入〔税率は0.5%（1/2 Pro C.）〕から 73 fl.

私の不動産収入〔税率は0.25%（1/4 Pro C.）〕から 5 fl.

各年、グルデン金貨で 78 fl.

1534 ~ 39年〔53 ~ 58歳〕 納税額：各年、140グルデン

当地アウクスブルク市で暫約租税〔義務〕が生じた。それは、1534年の7月31日に、私が兄アンドレアスの立会いの許、厳格に総決算を行ったからであった。その決算で明らかになった事は、債務者たちの巨額借財金が十分に返却された場合、私には〔配当金の〕取り分として2万8,000グルデンを手にする権利があるということであった。

この件に関して、我が商会はおおよその見積もりを立て、そしてフッガー商会とヴェルザー商会が皇帝と1530年の2月に締結したスペインでの大規模な取引引きに、僅かながら参加して得た利益〔6万グルデン〕⁹⁾を計上した。しかし、おそらく、その数字は不確実であった。そしてこの件で、皇帝陛下は依然として我が商会に私たちの〔債権〕持ち分として3万1,000グルデン〔= 17,500（貸付残高）+ 12,500（ウルリヒ・ホルトへの肩代わり金）+ 1,000（保険金）〕への〔支払い〕義務を負っていた〔この金額への私の取り分は5,008グルデンである〕。

したがって、もし全額が支払われた場合には、私は総額で3万3,008〔= 28,000（私の配当金額）+ 5,008〕グルデンの金額を手にすることになる。そのうち、〔動産〕税率は0.5%（1/2 Pro C.）なので、納税額はグルデン金貨で165グルデンである。

我が商会はいかなる債務額も損失金〔使途不明金〕（verloren）とはして

いないものの、それでもなお多くの負債額を控除した。たとえば上記の
締めた決算書の中では、ヴェネツィアには約1万5,022 ドゥカーテン
(Dukaten) に及び負債額があり、さらにニュルンベルクには1万7,707 グ
ルデンの負債額が、さらにはアントウェルペンには7,766 フランドル・ポ
ンド (L. = Flamisch Pfund) に及び種々の負債額が そのうちブラーバ
ント宮廷には3,420 ポンド 、さらにはポルトガル国王ジョアン3世
[S.76]

(King Johann von Portugal) には5,866 ポンドの負債額があった。これは全
体でおおよそ10万グルデン〔という巨額〕に達する程である。ただし、
この金額には、上記の皇帝カール5世への貸付金3万1,000グルデンは含
まれていない。危険で、不安なそして大胆な〔肩代わり〕行為が如何な
るものであれ、これに対する〔保険金として〕私は原資 (Hauptgut) から
3,600グルデンを控除した。

また私は、以下の金額に対して支払い義務があった。〔すなわち〕主婦
バーバラ・フォン・ディンハイムとその夫、そしてルーカス・ハンス・
レーム・フォン・ウルム (Lucas Hans Remen von Ulm) たちの〔投資金〕。
総額で2,400グルデン⁽¹⁰⁾である。

つまり、私はこの2項目〔保険金と個人投資金〕の金額〔3,600 +
2,400 = 6,000〕を、〔私の課税対象収入金額〕から控除する。〔動産〕税
率は0.5% (1/2 Pro C.) なので、控除額はグルデン金貨で30〔 = 6,000 ×
0.005〕グルデンである。

私の現金収入に関する納税額について、私の最高の知能と良心に従い、
入念に思案し、そして誠実にかつ底意なく見積もった納税額は、〔165 -
30なので〕グルデン金貨で135グルデンである。

さらに、私の4カ所の農場、十分の一税、小屋地、菜園などからの全
収益2,000グルデンに対して、〔不動産〕税率は0.25% (1/4 Pro C.) であ
るので、5グルデンである。

したがって、この6年間 (1534 - 39年) に支払った、また支払うべき納
税額の合計は、現金収入〔税率は0.5% (1/2 Pro C.): 135 fl.〕と不動産

収入〔税率は0.25% (1/4 Pro C.): 5 fl.〕から、上記したように、各年毎にグルデン金貨で140グルデンである。

〔注意書き〕[Notta] :

上記した13万1,000〔= 100,000 + 31,000〕グルデンの負債額のうち、私に関係する金額はその4分の3 (= 98,250 fl.) である。取り引きでの私の取り分はそれと同程度か、それ以上である。〔すなわち〕この負債額の私の取り分はおおよそ3.5% (3 1/2 Pro C.) 〔 = 4,585グルデン 〕である。

私はこの金額を納税対象から除外した⁽¹¹⁾。

(注)

- (1) アウクスブルク市では、1498年以降、現金収入(動産)の税率は0.5%である。したがって、この場合の納税額は $7,500 \times 0.5\% = 37.5$ グルデンである。税率については、第10章中の本文に明記されている。なお、諸田実『フッガー家の遺産』(有斐閣、1989年、18ページ)をも参照のこと。
- (2) ルーカス・レーム商会の設立メンバーについては、第3章第3節「本誌」第4号(2004年) 115-116ページを参照のこと。
- (3) 妻の納税額が19グルデンなので、妻の納税対象収入額は3,800グルデン、またルーカス自身の納税が56.5グルデンなので、彼の納税対象収入額は1万1,300グルデンである。
- (4) スペイン国王カルロス1世は、1519年の皇帝選挙で、対立候補フランス国王フランソワ1世に勝利するために莫大な買収資金を必要とした。その資金総額は85万2,000グルデンであった。フッガー家は約54万グルデンを、ヴェルザー家は約13万グルデンを引き受けていた。諸田実『フッガー家の遺産』(有斐閣、1989年、70-71ページ) 同『フッガー家の時代』(有斐閣、1998年、49ページ)を参照のこと。
- (5) スペイン国王カルロス1世から、2年後(1521年)に、54万グルデンのうちの20万グルデンを返済する旨の約束を得ていたが、当時のフッガー家にも返済は履行されず、当主のヤーコブでさえ業を煮やしていた。諸田実『フッガー家の時代』(有斐閣、1998年、49ページ)を参照。
- (6) コムネーロスの乱については、立石博高他編『スペインの歴史』(昭和堂、1998年、107ページ)を参照。
- (7) 本文では6年と記されているが、明らかにルーカスの誤記であり、5年である。
- (8) ウルリヒ・ホルトがレーム商会を退職したのは、1527年である(第3章「本誌」第14号、2004年、123ページを参照)。
- (9) このスペインでの取り引きに関するルーカス・レーム商会の取り分は、フッガー商会の取り分の10分の1である〔原注305〕。この件については、第2章「本誌」第13号(2004年) 129ページおよび145ページの注〔141〕を、また第3章「本誌」第14号(2004年) 129ページを参照。
- (10) この3人の投資額は、1522-26年の3年間では1,400グルデン(本章114ページ)であったが、1534-39年には2,400グルデンと表示されている。増額された1,000グルデンの詳細は不明。
- (11) 同日記の原本(Das Original)は、近年ようやくアウクスブルク市立図書館が所有するに至ったが、それ以前は銀行家のフリードリヒ・フォン・ハルダー(Friedrich von Halder)

氏の私的文庫の中にあった。彼はこの重要で貴重な文庫を1846年にアウクスブルク市に寄贈した。

この所蔵本は市立図書館で分類されて書架に配置され、そして「フォン・ハルダー文庫」と命名されている。市立図書館では、この原本には「Num. 677 in 4^o」の番号が付いている。

私は「農民戦争についてのハンス・ルッツ（Hans Lutz）の日記」に関する私の緒言の中で、この文庫について多くのことを報告した。それはシュワーベン・ノイブルク歴史協会の年報第13・14合併号（1847 / 48年）の54・55ページに掲載されている。

この文庫の創設者たるゲオルク・ヴァルター・フォン・ハルダー（Georg Walther von Halder）氏がこの原本をどのようにして、さらに誰から取得したのかは、私には証明できなかった。私が知っていることは、ルーカス・レームの死後も長い間、彼の子孫たちが〔彼の日記を〕レーム家の名誉ある書物として所持していたこと、同日記の執筆者の義理の息子たるハンス・フォン・ハルトリーブ（Hans von Hartlieb）が自分の日記を綴る時に、このルーカス・レームの日記を手本としていたこと、さらに彼は手本の義父の日記から個々の章句をそっくり自分の日記に採用していたこと、などである。

このハンス・フォン・ハルトリーブは1519年11月10日生まれであるが、彼の父親はもともと彼が商人にではなく、むしろ学者になることを希望していた。1533・35年にかけて、彼はイタリアのパドヴァ（Padua）で、ヴォルフガング・ベリンガー・フォン・ヴィンブフェン博士（Dr. Wolfgang Beringer von Wimpfen）の指導の下で勉学に励んだ。彼の父親はさらに同年、彼をハンス・プファツェルト（Hans Pfanzelt）と共に、低地地方のブルッヘ（Burgess）へ遣わした。そこで彼はフランス人のカルロ・ヘラルド（Carolo Gerardo）を彼の教師（Praeceptor）とした。この教師の許には、彼の他に、さらに2人のアウクスブルク市出身者ダヴィット・パウムガルトナー（David Baumgartner）とゼーバルト・レーリングー（Sebald Rehlinger）も師事していた。1536年に、彼ハンスはアントウェルペンに赴いた。ここで彼は父親からエラスムス・シェツ（Erasmus Schetz）とアーノルド・ブラウン（Arnold Praun）への推薦を受けていた。そして彼はさらなる勉学のために、このアントウェルペンからルーヴァン（Lowen）へ移った。1537年に彼は再度パドヴァへ赴き、ここに1539年まで留まった。彼は、自ら確認しているように、勉学に1,512グルデン14シリング11デナリウスを費やした。

この1539年に、彼はルーカス・レームの許を訪れ、そして1540年1月1日から9年間〔ルーカス・レーム商会に〕参加した。しかし彼はまずヨーハン・ノイドルファー（Johann Neudorfer）の許で簿記を学ぶために、ニュルンベルクに赴く。

レームは彼をさしあたり宝石の取り引きに従事させた。彼はその販売のためにフランス王室やイギリス王室を相手にした。1543年に初めて彼はヴェネツィアのドイツ人商館でのレーム未亡人の営業を取り仕切った。彼は1544年〔12月16日〕にレームの長女マグダレーナと結婚した〔新郎：25歳、新婦：17歳〕。

彼は1560年に死亡したように思われる。なぜなら、この年で彼の日記は終わっているからである。1560年に彼はアンドレアス・ヴェルザー（Endres Welsler）、セバスチャン・ヒーターテラー（Sebastian Fietterer）そしてその他の者たちと共に、一般に「グロース・バルティダ（gross Partida）」と呼ばれている負債をフランス国王に思い出させようと、フランス宮廷に赴いた。しかし、彼らの努力は徒労に終わった。〔原注306〕（「ハンス・フォン・ハルトリーブの日記」の抜粋）

このハンス・フォン・ハルトリーブについては、第9章の編者のコメント（「本誌」本号、109・110ページ）を参照のこと。

索引

- * 索引中の ~ は、本訳の本誌掲載分冊番号 - 第10号(1) - 第12号(2) - 第13号(3) - 第14号(4) - 第15号(5) - 第16号(6) - 本号(7・完) を、後ろの数字はページ数を表す。
- * 各索引とも50音順。

人名索引

- * 索引項目は、家族名で引けるようにし、家族ごとにまとめた。また頻出するレーム家の商会はR商会、ヴェルザー家の商会はW商会とした。また、出身都市名のうち、アウクスブルク市はA市、ウルム市はU市と略記した。

ア行

- アウグスト (August) [A市在住の医師] 130
- アドラー** (Adler)
- アンナ (Anna) 230
 - フィリップ (Filipp) 220
 - ベアベル (Bärbel) 231
 - ベニグナ (Benigna) 231
- アドルフ (Adolf) [A市在住の医師] 130
- アルゲン** (von Argen)
- ウルズラ (Ursel) [バルベル・フォン・ディンハイムの妹] 209
 - ジョルク (Jerg) 220
- アンドルファー** (Endorfer) [妻方の親族、商人]
- アンナ (Anna) 202、203、217
 - シュテファン (Steffan) 203、210、220
 - ジョルク (Jerg) 229
 - ハンス (Hans) 203
- アンブロシウス2世 (Ambrosius Jung) [A市在住の医師] 122、130
- イムホーフ** (Imhoff) [A市商人]
- アグネス (Agnes) [アンドレアスの妻] 120
 - アンドレアス (Endris) [ケルン在住] 120
 - カタリーナ (Catarina) [ケルン在住] 230
 - ガブリエール (Gabriel) 229
 - コンラート (Konrat) [アントウェルペン在住のW商会の社員]
156、106
 - ジョルク (Jerg) 229

| | |
|--|--|
| レオンハルト (Leonhart) | 228 |
| ヴァイス (Weiss) [A 市商人] | |
| ウルリヒ (Ulrich) | 203、220 |
| ベアベル (Bärbel) [市長J.フェッターの娘] | 228 |
| ヴィーダマン、ハンス (Wiedemann, Hans) | 108 |
| ヴェルザー (Welser) [母方の親族、A 市商人] | |
| アントーン (Anton) [伯父] (1463 - 1518) | 140、142、153、156、 114、220、108、111 |
| アントーン 2 世 (Anton der Jung) | 103、111 - 114、221 |
| ヴェロニカ (Veronika) | 231 |
| ウルリヒ (Ulrich) | 231 |
| エレナ (Elena) | 232 |
| クリストフ (Cristoph) [従兄弟] (1480 - 1536) | 140 |
| シビλλα (Sibilla) [アントーン の娘、ルーカス 4 世 の妻] | 108 |
| バルトロメ (Bartolome) [A 市 参事 会 員] | 156、112、115、 222、87 |
| フランツ (Frantz) | 230 |
| マグダレーナ (Magdalena) [母親] (1463 - 1541) | 153、122、 127、132、111、221 |
| ヤーコブ (Jacob) [叔父] (1486 - 1541) | 111、113、116、222 |
| ヴェルザー・フォン・ニュルンベルク、ハンス (Welser von Nürnberg, Hans) | 231 |
| (ヘル・) ヴォルフ、ランゲン (Herr Wolf, Langen) | 112 |
| ウッティンガー、ジョルク (Uttinger, Jerg) [R 商 会 の ヴェネツィア 在 住 社 員] | 102、108、110 |
| ヴェルテンベルク大公 (Herzog von Württemberg) | 117 |
| エアファント (Erfands) [義兄弟] | 128 |
| エーインガー (Ehinger) | |
| ウルリヒ (Ulrich) [U 市 在 住 の 従 兄 弟] | 101、116、118 |
| ルーカス (Lukas) [U 市 商 人] | 109、125 |
| エーインガー、ウルリヒ (Ulrich) [運送業者] | 139 |
| エカイン (Echain) [妻 の 出 身 家 系 、 都 市 貴 族] | |
| ジョルク (Jörg) [舅] (1469 - 1507) | 153、202、203 |
| その子供 | |
| アンナ (Anna) [ルーカス 3 世 の 妻] | 154、122、123、 127 - 129、131 - 134、115、202、206、217、86、111、 118 |
| クリストフ (Cristoff) [義兄弟] | 154、210、212、217、221、 229、97 |
| シュトッフエル (Stoffel) [義兄弟] | 230 |

| | |
|--|-------------------------|
| ジョルク (Jörg)[義兄弟] | 154、 217、 221、 232 |
| マテウス (Matheus) | 203、 229 |
| マルクス (Marx)[伯父] | 202、 203、 216、 220、 111 |
| マルクス2世 (Marx der Jung) | 221 |
| ルーカス (Lucas)[義兄弟] | 140、 221 |
| エッキングー (Echinger) | |
| ウルリヒ (Ulrich)[R商会の正式社員] | 222、 107 |
| ハンス (Hans)[R商会の正式社員] | 112、 108 |
| エッケン (Echen) | |
| シュトッフエル (Stoffel)[ケルン在住の義兄弟] | 123 |
| マルクス (Marx) | 128 |
| エッグェンスベルガー、クリストフ (Egensberger, Christoff) | 214 |
| (イム・)エンゲル、ヤン (im Engel, Jan)[ケルン在住の医師] | 120 |
| エンゲルホーフ (Engelhoff) | |
| ヴァレンティン (Valentin)[ラテン語教師] | 107 |
| ハンス (Hans)[ラ・パルマ島の砂糖キビ農場監督官] | 158、 159 |
| (フォン・)オスト、レイ (von Ost, Rey)[洗礼立会人] | 104 |
| オットー、ヤーコブ (Otto, Jacob)[W商会の社員] | 101 |
| オプトル、バーベリン (Optlin, Berbelin)[母親マグダレーナの乳母] | 211、 228 |
| オーフン、トーマ (Ochn, Toma) | 222 |
| オベル、ヤーコブ (Obel, Jacob)[ケルン在住の医師] | 120 |

カ 行

| | |
|--|---------------------|
| カール5世 (スペイン国王カルロス1世)(Karl V)[神聖ローマ皇帝 (在位 1519 - 56)] | 108、 112、 115 - 116 |
| カロルス (Carolus)[R商会の社員] | 117 |
| ギエンガー (Giennger) | |
| ジョルク (Jerg) | 232 |
| ゼーボルト (Sebold)[洗礼立会人] | 113 |
| ペトルス (Petrus)[洗礼立会人] | 111 |
| クーグラー、アンナ (Kuglerin, Anna) | 230 |
| グオトラット、ハンス (Guotratt, Hans) | 222 |
| クラフト、ヤーコブ (Kraft, Jacob)[R商会の正式社員] | 107 |
| グランダー、アンドレアス (Grander, Endris)[A市有力商人] | 220 |
| クリフト (Cristoff)[聖十字架教会院長代理] | 106 |
| グレスラー、ベアベル (Gresler, Barbel)[妻の祖母] | 203 |
| グレーネベルク、ヤーコブ (Greneberg, Jacob)[洗礼立会人] | 101 |
| ゲール (Geir) | |
| ファイト (Veit)[借地農] | 90 |

| | |
|---|-----|
| マテウス (Matheis) [借地農] | 89 |
| ケッツマン、ヨハーネス (Ketzman, Johanes) | 107 |
| ケラー、バルトロメ (Keller, Bartolme) [ラ・パルマ島の砂糖キビ農場関係者] | 158 |
| ゴッセムプロート、ジークムント (Gossembrot, Sigmund) [有力鉱山業者] | 221 |

サ 行

| | |
|--|-----------------|
| ザイツ、シモン (Seitz, Simon) [サラゴサ在住の A 市商人] | 145 |
| サルメス、ベルナール (Salmes, Bernaart) [サラゴサ人] | 146 |
| ザングマイスター、ハンス (Zangmaister, Hans) | 232 |
| ジーター、メルヒヤ (Siüter, Melcher) | 230 |
| シェッツ、エラスムス (Schetz, Erasmus) [洗礼立会人] | 104 |
| シェーラー、ウルリヒ (Scherer, Ulrich) [借地農] | 94、96 |
| シェルベルク、ルーカス (Schelberg, Lucas) | 108 |
| シャルト、ハインリヒ (Schart, Heinrich) [ケルン在住の医師] | 120 |
| シュヴァルツ (Schwartz) | |
| アレクザンダー (Alexander) [避暑地別荘の売主] | 97 |
| メルヒアー (Mercher) [R 商会の正式社員] | 108 |
| シュタムラー、レオンハルト (Stamler, Leonhart) [A 市都市貴族] | 321 |
| シュテックリン、ハンス (Stecklin, Hans) [R 商会の社員、洗礼立会人] | 112、108 |
| シュテッドリン、ガブリエル (Stedlin, Gabriel) [W 商会の社員] | 101 |
| シュテーベハーバー (Stebhaber) | |
| ジョルク (Jörk) | 230 |
| ハンス (Hans) [W 商会のベネツィア支店長] | 139 |
| シュトッフエル、ゼーボルト (Stoffel, Sebolt) | 131 |
| シュニツァー、バスチアン (Schnitzer, Bastian) [別荘の隣人] | 97 |
| シュミット、ハンス (Schmid, Hans) [マデイラ島での W 商会の代理商] | 159 |
| シュミット、ハンス (Schmid, Hans) [クロイツ教区の牧師] | 102、107、109、110 |
| シュマウカー、コンラート (Schmucker, Conrat) | 221 |
| シュルツ、ジェロニムス (Schultz, Jeronymus) [R 商会の正式社員] | 107 |
| ジョルク (Jörk) [義兄弟、イタリア・トレヴィーゾ在住の商人] | 102 |
| ジョルク、アングネス (Jerg, Angnes) [U 市の代官] | 106 |
| ズルツァー、ゾイジリア (Sultzer, Seujlia) | 229 |
| ゼードルモール、ペーター (Sedlmor, Peter) [R 商会の正式社員] | 109 |
| ゼリグマン、ハンス (Seligmann, Hans) [借地農] | 91 |

タ 行

- (デ・) タクシス、フランシスコ (de Taxis, Francisuco) [郵便局長] 104
(ア・) ダロンダ、オットー (a Dareunda, Otto) [船長] 157
ダンジェロ、グイード (D'Angelo, Guido) [イタリア語教師] 139
ツィーグラ、ウルズラ (Ziegler, Ursel) 229
ツィリアクス、ヴォルフ (Ziracus, Wolff) 230
ツォラー、ヤーコプ (Zoller, Jacob) 105
ツォルナー・フォン・ニュルンベルク、アントーン (Zolner von Nürnberg, Anton) 232
ディンハイム (von Dinheim) [妻方の親族]
 ヴァイガント (Weigand) [R 商会への投資家] 202、215、222、
 85、114、116
 ジャン (Jan) 212
 バーバラ (Barbara) [妻の乳母] 208、221、84、86、98、99、
 114、116
 ヨハン (Johan) 210
デクンハ、トリスタン (Decunha, Tristan) [マダガスカル島に強制寄港させた
船長] 148
デラナーヴ、ジェローム (Delanave, Jerome) [ヴェネツィアの下宿先の主人]
139
ドイプフル、ピエロ (Deuburg, Piero) [フランス語の教師] 141
トルーシュラー・フォン・エッティンガー、ハンセン (Truschler von Öttinger,
Hansen) [博士] 108
トルソー、ジョルク (Torso, Jerg) 219

ナ 行

- ニッティンガー・フォン・メミンゲン、ハンス (Nitinger von Memmingen,
Hans) 230
ネーゲリン、ベネディクト (Nögelin, Benedict) [ラテン語教師] 107

ハ 行

- ハイランド、ハンス (Hailand, Hans) [教師] 110
ハインツェル (Haintzel)
 アンナ (Anna) [義兄弟クリストフ・エカインの妻] 232、97
 ハンス (Hans) 112
 ペーター (Peter) 112
ハインツラー、ハンス (Haintzler, Hans) 222
ハウク、マテウス (Haug, Mattheus) [R 商会の正式社員] 108
ハウザー、ハンス (Hauser, Hans) 103
パウムガルトナー、ジャン・ガブリエル (Bongarten, Jan Gabriel) [A 市商人]

- パウル、ハンス (Paur, Hans) [R 商会の正式社員] 107
 バサドーヌス、バルトロメオ (Basadonus, Bartolomeo) [船主] 159
 ハック、ハンス (Hack, Hans) [A 市書記] 230
 バックリー・ド・メテリン、ジャン (Bucly de Metelin, Jan) [修道士]
 146
 バッハマイル、ハンス (Bachmair, Hans) [家事奉公人] 211
 ハルトマン、マルクス (Hartmann, Marx) [R 商会の正式社員] 108
 ハルトリーブ、ハンス (Hartlieb, Hans) [R 商会の正式社員、ルーカス 3 世の長
 女の夫] 110、 109 - 110、 118
 ハンス (Hans) [レーム家の家事奉公人] 211
 フィシャー、エルスベト (Fischer, Elsbet) 229
 フィリップ美公 (King Philipp) [皇帝マクシミリアン 1 世の息子、ブルゴーニュ公
 (1483 - 1506)、オーストリア大公 (1496 - 1506)] 145
 フェークリン、ハンス (Vöchlin, Hans) 229
 フェッター (Vetter)
 ヴィルヘルム (Wilhelm) 229
 ヴォルフ (Wolf) 101
 ジョルク (Jörg) [A 市市長] 202、 219、 228
フェーリン (Vöhlin) [メミンゲン出身の商人、フェーリン商会]
 コンラート (Conrat) 105
 ハンス (Hans) [W 商会のリヨン支店代表] 102、 106、 112
 フェルナンデス、ガルシア (Fernandez, G.) [カスティーリア辺境伯]
 102
 フェルナンド 5 世 (Fernando V) [スペイン国王 (在位 1479 - 1516)]
 102
 (ドン・) フェルナンド (Don Fernando) 王子 [皇帝フェルディナンド 1 世 (在位
 1531 - 1564)] 102
 フォルクマイル・フォン・ニュルンベルク、ジョルク (Folkumayr von
 Nürnberg, Jerg) 220
フッガー (Fugger) [A 市商人]
 アントーン (Anton) (1493 - 1560) 129
 ヤーコブ (Jacob) (1459 - 1525) 118、 214、 219、 112
 プフィスター、ヴォルフ (Pfister, Wolff) 220
 プフィスター、ハンス (Pfister, Hans) [郵便配達業者] 139
 フムピス、ハンス・ヤーコブ (Hümpis, Hans Jacob) 231
 ブラウンシュヴァイク大公 (Herzog von Braunschweig) 107
 プラットナー、ハンス (Platner, Hans) [聖アンナ修道院の聖遺物保管係]
 111
 フランツ、ケーニヒ (Franz, König) 85

| | |
|---|----------------------|
| フランツ、マルティン (Frantz, Martin)[R 商会の正式社員] | 129、 |
| 211、212、 111、 106、108 | |
| フンク、アントーン (Funck, Anton)[R 商会の正式社員] | 108 |
| ヘアヴァルト (Herwart)[A 市都市貴族] | |
| アフラ (Afra) | 229 |
| アンナ (Anna) | 230 |
| クリストフ (Cristoff) | 220 |
| ジョルク (Jerg)[R 商会の正式社員] | 107 |
| マドレン (Madlen) | 230 |
| ベッセラー (Besserer)[U 市] | |
| ウルズラ (Ursel)[祖母、ウルム出身] | 152 |
| マルガレート (Maragaret)[市長コンラート・ベッセラーの妻] | |
| 113 | |
| ベッツ、メルコール (Betz, Melchor)[R 商会の社員] | 126 |
| ヘーヒシュテッター (Höchstetter)[A 市商人] | |
| アムプロシウス (Ambrosius) | 87、88 |
| ジョルク (Jörg) | 221 |
| ジョルク2世 (Jörg der Jung) | 222 |
| ハンス (Hans) | 222 |
| ヨーゼフ (Joseph) | 231 |
| ヘーラー (Hörler) | |
| ウルズラ (Ursel) | 125、 231 |
| ベアベル (Bärbel) | 232 |
| ベルシュトラッセ、ペーター (Berstrass, Peter)[洗礼立会人] | 101 |
| ヘンリー8世 (Henry VIII)[イングランド国王 (在位1509 - 1547)] | 108 |
| ポイティンガー、コンスタンツィア (Peutinger, Constanzia) | 230 |
| ホクンダ、ジュリアン (Jocunda, Julian)[リスボンでの逗留先の主人] | |
| 146 | |
| ホッセラー (Hosseler) | 222 |
| (ヘル・) ボニファティウス、レーンハルト (Her Bonifacius, Lenhart)[聖アン | |
| ナ教会の副牧師] | 112 |
| ホノルト (Honold)[A 市商人] | |
| アントーン (Anton) | 215 |
| ウルリヒ (Ulrich)[W 商会の社員] | 156、 113、 115 - 116、 |
| 119 - 124、126 - 127、132、 111、113 - 114 | |
| ハンス (Hans) | 126 |
| ホフマン、レーンハルト (Hofmann, Lenhart)[R 商会の社員] | 129、 |
| 109 | |
| (フォン・) ホーヘンエック、アンドレアス (von Hocheneck, Endris)[ホーヘ | |
| ンエック司教] | 90 |

- ポール、ニクラス (Pole, Niclas) [教師] 107
- ホルツボック、ヤーコブ (Hotzbock, Jacob) [マデイラ島での砂糖キビ農場監督
官] 158、159
- ボルナー、バスチアン (Polner, Bastian) [ヴェネツィア在住の R 商会の正式社
員] 102、110
- (フォン・デア・) ボルヒト、マルガレート (von der Borch, Margrett) [アン
トウエルペン在住の内縁の妻] 101、104
- ボンガルトナー (Bongartner) [A 市商人]**
- アンナ (Anna) 230
- エレナ (Elena) 231
- ゼーボルト (Sebold) 220
- ハンス (Hans) [レーリンガー家と姻戚関係] 203、220
- ハンス 2 世 (Hans der Jung) 221
- モニカ (Monica) 229
- ランブレヒト (Lambrecht) [教師] 102
- (フォン・) ボンベルガ、アントーン (von Bomberga, Anton) [アントウエルペン
在住の R 商会の正式社員] 102、110

マ 行

- マイティング、ウルズラ (Meiting, Ursel) [バルトロメ・レームの未亡人]
96
- マイティング、ジョルク (Meiting, Jerg) [R 商会の共同出資者、アントウエル
ペン支店担当] 117、118、116、125、111
- マクシミリアン 1 世 (Maximilian I) [神聖ローマ皇帝 (在位 1493 - 1519)]
107、108、117
- マテウス (Mathaeus) [ラーフェンスブルク在住の医師] 104、121、122
- マヌエル 1 世 (Manuel I) [ポルトガル国王 (在位 1495 - 1521)] 146
- 149、101、112
- マルティン、ヴィルヘルム (Martin, Wilhelm) [W 商会の代理商] 151
- ミッシェル、マギスター (Michel, Magister) [助祭] 112
- メッサーシュミット、アンナ (Messerschmid, Anna) [洗礼立会人] 106、
109、111 - 112
- メルス、ヴァレンティン (Mörz, Valentin) [R 商会の正式社員] 109
- メルツ、ヴィルヘルム (Mörzt, Wilhelm) 232
- メンデス、ルイ (Mendes, Rui) [ポルトガル貴族] 147

ラ 行

- ライカフ、ウルズラ (Leikaf, Ursel) [ウルズラ・マイティングの娘] 96
- ラウギンガー (Lauginger) [A 市商人]**
- アントーン (Anton) [W 商会のミラノ支店長] 140、220

| | | |
|--|---|-----|
| 老オットー (Otto der Alter) | 219 | |
| ナルシス (Narzis)[W 商会のリヨン支店長] | 141、142、 | 112 |
| ハンス (Hans)[W 商会の社員] | 139 | |
| 老ハンス (Hans der Alter) | 203、220 | |
| ラーフェンスブルガー、ラークス (Ravensburger, Laux) | 97 | |
| ラーフェンスブルガー、レオ (Ravensburger, Leo)[マデイラ島の W 商会の代理商] | 159 | |
| ランガウアー、バルトウス (Langauer, Baltus) | 231 | |
| ランゲンマンテル (Langenmantel)[A 市都市貴族] | | |
| アイテルハウス (Eyttelhaus) | 220、 | 87 |
| アイテルハウス 2 世 (Eyttelhaus der Jung) | 221 | |
| ジークムント (Sigmund) | 229 | |
| ヨハン (Johan) | 231 | |
| リッシャー、ジャン (Rischer, Jan)[リヨン市出納長、造幣局長] | 142 | |
| リープナウアー、ジョルク (Liebnauer, Jerg)[R 商会の正式社員] | 109 | |
| ルイ 12 世 (Louis XII)[フランス国王 (在位 1498 - 1515)] | 108 | |
| ルードルフ (Rudolf) | 90 | |
| レーヴェンシュタイン、スキピオ (Lewenstein, Scipio) | 145 | |
| レスラー、マルグリータ (Rösler, Margrita)[弟ハンスの妻] | 231 | |
| レーム (Rem)[A 市商人、ヴェルザー家と親族関係] | | |
| ヴィルヘルム (Wilhelm)[父方の親族、A 市商人、年代記作者、1462 - 1529] | 203、220 | |
| ヴォルフ (Wolff)[父方の親族] | 202、219 | |
| バルトロメ (Bartolome)[父方の親族] | 109、202 - 203、221 | |
| ハンス (Hans)[曾祖父、1340 - 1396] | 150、92 | |
| ルーカス 1 世 (Lucas I)[祖父、1392 - ?] | 152、90 | |
| その子供 [伯父、叔父] | | |
| ギルク (Gilg) | 152 | |
| ハンス (Hans) | 152 | |
| マテウス (Matteus) | 152 | |
| マルクス (Marx) | 152、153 | |
| ルーカス 2 世 (Lucas II)[父親、1438 - 1496] | 152、153、116 | |
| その子供 [兄弟姉妹] | | |
| アンドレアス (Endris)[長男・兄] | 153、140、104、108、109、114、117、128、116、119、121、123 - 124、126、132 - 134、203、209 - 210、212、221、228、86 - 87、92 - 93、111、113、115 | |
| その子供 [甥・姪] | | |
| アフラ (Afra)[兄の長女] | 209、232 | |

| | |
|---|---|
| アンドレアス (Endris) [兄の長男] | 209、 212 |
| スザンナ (Zusanna) [兄の次女] | 209、 232 |
| カタリーナ (Kattarina) [次女・妹] | 153 |
| ギルグ (Gilg) [四男、弟キームゼー司教] | 153、 153、 228、 231、 87 |
| その子供 [甥] | |
| ルーカス・ギルグ (Lucas Gilg) [弟ギルグの息子] | 220、 87 |
| ジョルク (Jorg) [五男・弟] | 153 |
| ハンス (Hans) [三男・弟] | 153、 101、 105 - 106、 117、 115、 210、 221、 228、 87、 111 |
| その子供 [甥] | |
| マテーウス・ハンス (Matheus Hans) [弟ハンスの次男] | 87 - 88 |
| ルーカス・ハンス (Lucas Hans) [弟ハンスの長男] | 86 - 88、 93、 114、 116 |
| マグダレーナ (Madlena) [長女・妹] | 153、 129、 111 |
| ルーカス 3 世 (Lucas) [次男・本人、 1481 - 1540] | |
| | 153 - 154、 138 ff.、 101 ff.、 111 ff.、 202 ff.、 84ff.、 110ff. |
| その子供 [息子・娘] | |
| アンナ (Anna) [私生児] | 130、 104 - 105 |
| エリザベート (Elisabeth) [三女] | 113 |
| ベルクトルト (Berchtold) [次男] | 110 - 111 |
| ベルクトルト 2 世 (Berchtold der Jung) [四男] | 112 - 113 |
| マグダレーナ (Magdlena) [長女、 1527 - 1575] | 108 - 110、 110、 118 |
| マリア (Maria) [次女] | 112 |
| ヤーコブ (Jacob) [私生児] | 101 |
| ヨーゼフ・アブラマーティア (Josep Abaramathia) [三男] | 111 |
| ルーカス 4 世 (Lucas IV) [長男、 1522 - 1581] | 106 - 108 |

レーム (Rem)

| | |
|-------------------------------------|-------------|
| アンナ (Anna) [A 市商人の娘] | 232 |
| ヴォルフガング (Wolfgang) [グロースケッツ在住の医師] | 109、 116 |
| ジークムント (Sigmund) [R 商会の正式社員] | 109 |
| ドロテア (Dorothea) [バルトロメーオの娘] | 230 |

| | | |
|---|----------|-----|
| ベアベル (Bärbel) | 231 | |
| ラークス・ハンス (Laux Hans) [R 商会の正式社員] | | 107 |
| レーリンガー (Relinger) [A 市都市貴族、エカイン家と親族関係] | | |
| アンナ (Anna) | 229 | |
| ウルリヒ (Ulrich) | 203、220、 | 87 |
| クララ (Clara) | 203 | |
| コンラート (Conrat) | 202、220 | |
| サビーナ (Sabina) | 231 | |
| レオンハルト (Leonhart) | 232 | |
| ロット、コンラート (Rott, Conrat) [A 市商人] | | 231 |

事項索引

ア 行

アウクスブルク市

| | | |
|----------------------------|--------------|-------------|
| 市参事会 (Stadtrat) | 87 - 88 | |
| 市長 (Bürgermeister) | 202、219、228、 | 87、113 |
| 都市裁判所 (Stadtgericht) | 108 | |
| インド貿易 (Indische Händel) | 160 - 161、 | 112、113 |
| 円形闘技場 [コロッセオ] (Colosseo) | 103 | |
| 大市 [メッセ] (Meße) | | |
| ブラーバント地方 | 113 | |
| フランクフルト・アム・マイン | 128、 | 113、125、128 |
| ベルヘン・オブ・ゾーム | 106 | |
| ミッデルブルフ | 106 | |
| メッヘレン | 106 | |
| ルーベン | 106 | |

カ 行

| | | |
|---|---------|-------------------|
| 嫁資 (Heiratgut) | 115 | |
| 貨幣 (Geld) | | |
| クルキアティ金貨 (Cruciati) | 147、 | 112、129、130 |
| グルデン金貨 (Goldgulden) | 115、117 | |
| グルデン銀貨 (Silbergulden) | 151ff. | |
| クロイツァー貨幣 (Kreuzer) | 90ff. | |
| シリング (バイエルン・シリング) 貨幣 (Bayerische Schilling) | | |
| | 95 | |
| ドゥカーテン金貨 (Dukaten) | 112、 | 219 - 220、222、116 |

| | | |
|--|----------------|-----------|
| バツェン銀貨 (Batzen) | 97 | |
| ハンガリー金貨 (Ungerische Dukaten) | | 206 |
| フランドル貨 (vls.=Flamische Pfund) | 108、 | 116 |
| フローリン金貨 (Florin) | 97 | |
| ペーニヒ貨 (Pfennig) | 92ff. | |
| ベーメン貨 (Böhmishe Gulden) | 97 | |
| マルク銀貨 (Marksilber) | 144、 | 230 |
| リヨン貨 (Lionemüntz) | 142 | |
| 観光旅行 (Touren) | 142 - 143、146、 | 153 - 156 |
| 宮殿 [王宮] (Königshof) | | |
| 教皇の白亜宮殿 (Weißer Palast des Papst) | | 154 |
| サン・エレン (St. Erren) | 101 | |
| シントラ (Sintra) | 157 | |
| スペイン国王 (Spagnaking) | 145、 | 102 |
| ブラーバント (von Brabant) | 116 | |
| ブリュッセル (zu Brissel) | 118 | |
| 教育 (Erziehung) | | |
| 学生 [住み込みの学生] (Eehalten) | 141 | |
| 教師 (Magister/Praeceptor) | 102、106 - 107、 | 118 |
| 算術 (Rechnen) | 139 | |
| 算術学校 (Rechnensschule) | 107 | |
| 法律と簿記 (Recht u. Buchhalten) | 102 | |
| 簿記 [学校] (Buchhaltungsschule) | 140、 | 118 |
| 見習い料金 (Lerngeld) | 103 | |
| 読み書き (Lesen u. Schreiben) | 104、109 - 110 | |
| ラテン語学習 (Lateinische Schule) | 107 | |
| 薬 (Arznei) | | |
| 丸薬 (Pille) | 130 | |
| 散し薬 (Puever) | 120 | |
| 煎じ薬 (Tränklein) | 120 | |
| 軟膏 (Salben) | 120、130 | |
| 練り薬 (Latwerge) | 120 | |
| グロース・パルティエダ [巨額負債] (Gross Partida) | | 118 |
| 結婚衣装 (Hochzeitskleider) | 203ff. | |
| [A] 新郎用 (Bräutigam) | | |
| ガウン (Robe) | 204 | |
| 婚礼用礼服用の上着 (Hochzeitsrock) | | 204 |
| ジャケット (Wams) | 204 | |
| ズボン (Hose) | 205 | |
| 肌着 (Hemd) | 207 | |

| | |
|---|-------------------------|
| 披露宴用の上着 (Nachhochzeitskleid) | 205 |
| 舞踏会の衣装 (Hochzeitsmahlsrock) | 204 |
| 帽子 (Barett) | 204 |
| モーニング (Cutaway) | 207 |
| 礼帯 (Schärpe) | 232 |
| [B] 新婦用 (Braut) | |
| ウエディングドレス (Geschwanzter Hochzeitsrock) | 207 |
| 金のネックレス (Goldene Kette) | 206、215、217 |
| シャウベ (Schaube) | 208、215 |
| 肌着 (Hemd) | 207、216 |
| 披露宴用ドレス (Nachhochzeitsrock) | 207、215 |
| 婦人用帽子 (Haube) | 208 |
| ペチコート (Unterrock) | 215 |
| ベルト (Gürtelen) | 207、215 |
| 指輪 (Ring) | 217、228、231 |
| サファイヤ (Saphir) | 206、215 |
| ダイヤモンド (Diamant) | 206、215 |
| ルビー (Rubin) | 206、215 |
| 結婚式 (Hochzeit) | |
| アンドレアス [兄] | 104 |
| ハンス [弟] | 124 |
| ルーカス 3 世 | 116、123 - 125、203 |
| 鉱山 [採掘場] (Bergwerk) | 98 |
| 護衛 (Geleit) | 107、128、131 |
| コムネーロスの反乱 (Gross uffglaf = Comunidades) | 112 |
| 婚姻証書 (Heiratsbrief) | 217 |
| 婚約 (Verlobung) | 202 |
| サ 行 | |
| 私生児 (Uneheliche Kinder) | 130、101 - 103、104 - 105 |
| 社員 [レーム商会] (Diener) | 106 - 110 |
| 終身年金 [ライブゲディング] (Leibgedinge) | 84、86 - 87、93、98 |
| 終身年金証書 (Leibgedingebrief) | 86 |
| 礼宴 [披露宴] (Mahlzeit/Casterein) | 203、213 |
| 雄鶏 (Kapaun) | 214 |
| ケーキ (Kuchen) | 214 |
| 香料 (Spezerei) | 213 |
| 魚料理 (Fisch) | 213 |
| 塩 (Salz) | 214 |
| テーブル (Tisch) | 213 |

| | | | |
|---|--------|--------|-----------|
| 肉 (Fleisch) | 214 | | |
| パン (Brot) | 214 | | |
| 薪とローソク (Holz u. Kerze) | 214 | | |
| ラード (Schmalz) | 214 | | |
| ワイン (Wein) | 213 | | |
| 巡礼地 (Wallfahrtsorte) | | | |
| ヴェンヌ (Vienne) | 103 | | |
| サンタ・マリア・デ・グアダルーペ (St. Maria de Guadalupe) | 102 | | |
| モンセラート (Monserat) | 103 | | |
| 商事会社 (Handelsgesellschaften) | | | |
| ヴェルザー商会 (die Welser) | 111 | | |
| アウクスブルク本店 (Augsburg) | 142、 | 109、 | 112 |
| アントウェルペン支店 (Antwerpen) | 113 | | |
| ヴェネツィア支店 (Venedig) | 139 | | |
| ブリュッセル支店 (Brüssel) | 106、 | 110 | |
| ミラノ支店 (Milano) | 140 | | |
| リスボン支店 (Lisbon) | 146、 | 149、 | 101 |
| リヨン支店 (Lyon) | 141 - | 142、 | 112 |
| ハンス・フェーリン商会 (die Hans=Vöhlin) | 153 | | |
| フッガー商会 (die Fugger) | 130、 | 135、 | 112 |
| ルーカス・レーム商会 (die Lucas Rem) | 117ff. | | |
| 商事会社の経営 (Betrieb der Handelsgesellschaft) | | | |
| 飲食費 (Berossung) | 117、 | 119、 | 128 - 130 |
| 馬の糧秣代 (Unterhaltgeld des Ros) | 120、 | 122 - | 123、 |
| | 131、 | 133 - | 134、 |
| | 136 | | |
| 貸付金 (Darlehen) | 128、 | 111ff. | |
| 貴金属の取引 (Handel mit Edelstein) | 118 | | |
| 給料 (Belohnung/Dienstgeld) | 142、 | 213 | |
| 共同出資者 (Partidor) | 113、 | 118、 | 121 |
| 原資 (Hauptgut) | 118、 | 120、 | 123、 |
| | 131 - | 135 | |
| 口座 (Conto) | 122 | | |
| 光熱費 (Holtz u. Kerzen) | 123、 | 128 - | 131、 |
| | 133 - | 134、 | 136 |
| 雇用契約 (Vertrag der Gesellschaft) | 106 - | 110 | |
| 砂糖キビ農場 (Zücker Hof) | 158、 | 113 | |
| 収益率 (Nutzungsrate) | 112 - | 114、 | 117 |
| 宿泊代 (Gastung) | 120、 | 133、 | 136 |
| 商旅費用 (Reisecost/-geld) | 120 | | |
| 税率 [動産] (Steuersatz) | 115 - | 116 | |
| 接待費 (Gastung) | 129 | | |

| | |
|----------------------------------|--|
| 餞別 (Abschiedsgeschenk) | 127 - 128 |
| 総決算 (Generalrechnung) | 117、119、121、126 - 127、135、 113 |
| 損益金 (Gewinn u. Verlust) | 117、119 - 120、127、129、131、133、 115 |
| 退職金 (Abschiedszuschuss) | 113 - 114、 123、127 |
| 通行税 (Zollen) | 145 |
| 配当金 (Dividende) | 117、121 - 123、127 - 128、130 - 131、 85 |
| 被服費 (Kleidergeld) | 142、 117、119 |
| 負債 (Schuld) | 124 - 127 |
| フレッテ・エト・ディエット (Frette et Dietto) | 148 |
| 分割払い込み金 (Rata) | 113 |
| 報酬 (Lohn) | 115 |
| 簿記 (Buchhaltung) | 118 |
| 保険会社 (Versicherungsgesellschaft) | 114 |
| 保険金 (Versicherungsgeld) | 114 - 116 |
| 遊興費 (Lustbarkeitsgeld) | 114 |
| 利子付き預金 (Zinsbuch) | 132、135 - 136 |
| 両替手形 (Wechsel) | 126 |
| ローヌ河の難破 (Schiffbruch im Rhone) | 144 |
| 商品 (Handelsware) | |
| 無花果の実 (Feige) | 150 |
| オウム [外国産] (Papagei) | 114 |
| オリーブ油 (Olivenöl) | 149、 112 |
| 毛織物 (Wollstoff) | |
| イングランド産 | 108、 113 |
| フランドレン産 | 149、 112 |
| 香辛料 (Gewürz) | 148、 112、 112 |
| 砂糖 (Zucker) | 160、 113 |
| サフラン (Safran) | 143、145、146、 112 |
| 辰砂 (Zinnober) | 149、 112 |
| 水銀 (Quecksilber) | 128 |
| 精錬銀 (Frischsilber) | 149、 112 |
| 象牙 (Elfenzahn) | 149、 112 |
| 銅 (Kupfer) | 149、 112 |
| 鉛 (Blei) | 149、 112 |
| 猫 [外国産] (Katze) | 114 |
| 宝石 (Edelstein) | 114 |
| 綿花 (Baumwolle) | 152、 149、 112 |

| | | |
|---------------------------------|------------------------|---------|
| 羊毛 (Wolle) | 146、 | 112 |
| ワイン (Wein) | 149、 | 112 |
| 職業・身分 (Beruf/Stand) | | |
| 医師 (Arzt) | 104、109、116、120 - 122、 | 130 |
| 隠修士 (Einsiedler) | 103 | |
| 運送業者 (Träger) | 139 | |
| 追いはぎ (Straßenräuber) | 131 | |
| 親方衆 (Meister) | 158 | |
| 海賊 [モンドラゴン] (Seeräuber) | 151 | |
| 家具師 (Tischler) | 103 | |
| 家事奉公人 (Hausgesinde) | 104 | |
| 下人 [下男・下女] (Ehehalten) | 148、 | 212、214 |
| 航海士 [上級水夫] (Hochmatrose) | 151 | |
| 護衛の従者 [騎士・徒士] (Ritter/Knecht) | 131 | |
| 鼓手 (Trommelschläger) | 213 | |
| 子守女 (Kindsmaid) | 127 | |
| 酒蔵番 (Keller) | 213 | |
| 指物師 (Schreiner) | 103 | |
| 三助 (Badeknecht) | 131 | |
| 仕入れ係 (Einkäufer) | 148 | |
| 修道士 (Klosterbruder) | 146 | |
| 手工業者 (Handwerker) | 102 | |
| 守備隊長 (Capitan) | 159 | |
| 狩猟親方 (Jägermeister) | 212 | |
| 商人 (Kaufmann) | 151ff. | |
| 職人衆 (Handwerker/Diener) | 158 | |
| 船主 (Schiffsherr) | 151 | |
| 船長 (Schiffsführer) | 151 | |
| 造幣局長 (Müntzmeister) | 142 | |
| 代官 (Vogt) | 97、106 | |
| 調停裁判官 (Dadingsherr) | 88 | |
| 調理人 (Koch) | 213 | |
| 辻強盗 (straßenräuber) | 131 | |
| 笛手 (Pfeifer) | 213 | |
| 農民 [借地農] (Bauer) | 89、90、91、94、96 | |
| 花嫁介添え人 (Brautfieren) | 212 | |
| 刃物師 (Messerschmied) | 213 | |
| ハンガリー王妃 (Königin von Ungern) | 108 | |
| ブドウ畑監督官 (Bergmeister) | 213 | |
| 平民 [民衆] (Gemeinen) | 112 | |

| | |
|---------------------------|----------------------|
| 牧師 [説教師] (Predicant) | 102、107、109、110、112 |
| 捕鳥者 (Vogeler) | 96 |
| 水先案内人 (Pilot) | 152 |
| 漁師 (Fischer) | 95 |
| 郵便局長 (Postmeister) | 104 |
| 郵便配達人 (Postbote) | 139 |
| 薬剤師 (Apotheke) | 121 |
| 槍持ち (Speerträger) | 212 |
| 養育係り (Amme) | 98 |
| 所領経営 (Hofsbetrieb) | |
| 囿場 (vogelherd) | 96 |
| 家畜小屋 (Stall) | 96 |
| 関税収入 (Zoll) | 87、89 |
| 小屋地 (Sölden) | 87 - 89、115 - 116 |
| 菜園 (Garten) | 87 - 88、97、115 - 116 |
| 採草地 (Wiese) | 94 - 95 |
| 採草地税 (Wiesenzins) | 91、94 |
| 材木 (Holzen) | 96 |
| 借地 [レーン] (Lehn) | 86、88、92 |
| 借地証書作成代金 (Schreibgeld) | 90 - 92、94 |
| 十分の一税 (Zehnt) | 88、95、115 - 116 |
| 税率 [不動産] (Steuersatz) | 115 - 117 |
| 地代 (Zins/Gült) | 88、90、96 |
| 燕麦 (Hafer) | 90 - 91、94 - 95 |
| 大麦 (Gestern) | 92、94 |
| 家禽の油脂 (Vogelöl) | 90 - 91 |
| ガチョウ (Gans) | 91 - 92、95 |
| 小麦 (Korn) | 90 - 92、94 |
| 卵 (Eier) | 90 - 92、95 - 96 |
| チーズ (Käse) | 92、95 |
| 鶏 (Huhn) | 90 - 92、95 |
| 雌鳥 (Henne) | 91 |
| ライ麦 (Roggen) | 90 - 91、94 - 95 |
| 鳥網 (Vogelnetz) | 96 |
| 鳥小屋 (Vogelhaus) | 96 |
| 納屋 (Hütten) | 96 |
| 農場 (Hof) | 87 - 91、94 |
| 売買証文 (Kaufbrief) | 96 |
| 針金 (Draht) | 96 |
| 屋敷地 (Hofstat) | 96 |

| | |
|---|-----------------------|
| 領主の柁 (Herren Mas) | 90 - 92、94 - 95 |
| 漁場 (Fischerei) | 89 |
| 修道院 (Kloster) | |
| サン・モリッツ (St. Moritz) | 220、 112 |
| 聖アンナ [在：アウクスブルク] (St. Anna) | 111、 112 |
| 聖ウルリヒ [在：ディリンゲン] (St. Ulrich) | 129、 144、 212、 223 |
| 聖カタリーナ (St. Katarina) | 151、 223 |
| 聖サン・トメール (St. Omer) | 108 |
| 聖十字架 (Hl. Kreutz) | 219、 106 |
| 聖母マリア [在：モンセラット] (St. Maria) | 103 |
| 聖レーオナルト [礼拝堂] (St. Leonhards Capelle) | 153 |
| 聖レーンハルト (St. Lenhard) | 96 |
| 聖遺物 (Reliquie) | |
| 聖アンナの頭蓋骨とその他の遺骨 (St. Anna Haupt u. andere Gebein) | 155 |
| 聖ヨハネの遺体 (St. Johannes Tauffers Haupt) | 156 |
| 聖ラザロの頭蓋骨 (St. Lasarus Haupt) | 155 |
| バチカン (Vatican) | 154 |
| マグダラのマリアの頭髪と布地 (St. Maria Magdalena Haupthaar u. Schnitt) | 155 |
| 誓約租税 (Geschwore Steuer) | 111ff. |
| 説教部屋 (Predigthaus) | 112 |
| 戦争 (Krieg) | |
| イングランド軍 (Englisches Heer) | 107 |
| ヴェネツィア軍 (Venediges Heer) | 154 |
| ギヌガットの戦い (Guinegate) | 108 |
| 神聖ローマ皇帝軍 (Kaiserishes Heer) | 107 - 108 |
| 要塞と塔 (Bollwerk u. Turm) | 108 |
| 船舶 (Schiff) | |
| 海賊船 (Seeräuber) | 150 - 151 |
| 軍艦 (Kriegsschiff) | |
| カラベル船 [カスティールヤ国籍] (Caravel) | 158 |
| ガレオン船 [フランス国籍] (Galeone) | 154 |
| ガレー [櫂] 船 (Runderschiff) | 159 |
| ビスケー船 (Biskaischesschiff) | 157 |
| フランス軍船 (Französisches Kriegsschiff) | 151 |
| ポルトガル軍船 [東インド向け] (Armad per Indiam) | 148、 161 |
| 航路標識 (Seemarken) | 152 |

| | | |
|--------------------------------------|---------------------------|-----------|
| 小型船 (Barel/Barinel) | 151、155 | |
| 船舶賃貸契約 (Vertrag der Armazionschiff) | | 146 |
| 船舶名 (Schiffsname) | | |
| セント・アントーニオ号 (die St. Antonio) | | 147 |
| セント・ヴィチェント号 (die St. Vizent) | | 147 |
| セント・ジェロニモ号 (die St. Jeronimo) | | 147 |
| セント・ボナヴェントウーラ号 (die St. Bonaventura) | | 154 |
| セント・ポール号 (die St. Paul) | 151 | |
| セント・マリア・デルース号 (die St. Maria Deluz) | | 147 |
| セント・ラファエロ号 (die St. Raffael) | | 147 |
| リオナルダ号 (die Lionarda) | 147 | |
| 暴風雨 (Sturm) | 151、160 | |
| 洗礼立会人 (Gevatter) | 101、104、106、109、111 - 113 | |
| 相続財産 (Erbe) | | |
| 亜麻製衣服 (Leingewand) | 98 | |
| 衣服 (Kleid) | 218 | |
| 家具 (Hausrat) | 219 | |
| 掛け布団 (Deckbett) | 99 | |
| 髪飾り (Kopfputz) | 218 | |
| 金製ゴブレット (Golden Pokal) | | 218 |
| 銀塊 (Klumpensilber) | 98 | |
| 銀製グラス (Silber Becher) | | 218 |
| 銀製深皿 (Silber Schale) | | 218 |
| 銀製容器 (Silber Geschirr) | | 98 - 99 |
| 小物 (Kleinding) | 99 | |
| 財布 (Säckel) | 218 | |
| 座布団 (Pfühl) | 99 | |
| 敷布 (Bettgewand) | 219、 | 99 |
| 錫製容器 (Zinn Geschirr) | | 219 |
| 机 (Tisch) | 219 | |
| 鍍金コップ (Vergolden Becher) | | 99 |
| ネックレス (Kette) | 217、 | 218 |
| 古着 (Altes Kleid) | 98 | |
| ベルト (Gürtel) | 218 | |
| 枕 (Kissen) | 99 | |
| 遺言状 (Testament) | 133 - 134、 | 98 |
| 指輪 (Ring) | 217、 | 218 |
| 揺りかご (Weige) | 99 | |
| 嫁入り支度金 (Aussteuer) | | 216 - 217 |
| ロザリオ (Paternoster) | 218 | |

| | | |
|------------------------------------|-------|------------------------------|
| 贈与 (Schenken) | 115 | |
| 絵画、線画 (Malerei/Zeichen) | 114、 | 223 |
| 花冠 (Kränz) | 213 | |
| 甲冑 (Schnellier) | 213 | |
| ガーゲルト (Gabgeld) | 213 | |
| 銀製食器棚 (Kredenz) | 221 | |
| 銀製の高脚杯 (Köpflin) | 232 | |
| 銀製の鈴 (Scheirlin) | 221、 | 223 |
| 銀製の茶碗 (Becher) | 222 | |
| 銀製の口ザリオ (Paternoster) | 222、 | 223 |
| 銀製水差し (Wasserkanne) | 209、 | 221、 84 |
| 靴 (Schuh) | 211 - | 212 |
| サージ [アラス産] (Rasch) | 222 | |
| サファイアの指輪 (Safir Ring) | 221 | |
| 塩壺 (Salzfaß) | 232 | |
| 鹿 (Hirsch/Wild/Reh) | 214、 | 215 |
| 祝儀 (Hochzeitgeschenk) | 115、 | 214 - 215、 219 - 223、 228ff. |
| 茶碗 (Becherlin) | 219 | |
| 壺 [真珠で装飾] (Hafen) | 221 | |
| テンの毛皮 [上着] (Pelzrock von Marder) | 228 | |
| ドゥカーテン金貨 (Dukaten) | 219 - | 220、 222 |
| マルク銀貨 (Silber Mark) | 230 | |
| 指輪 (Ringel) | 212、 | 219、 222、 223、 231 |

タ 行

| | | |
|---|-------|---------------------------------------|
| 退職 (Abschied) | 113 - | 114、 123、 127 |
| 帳簿 (Buch) | | |
| 会計簿 (Rechnungsbuch) | 140、 | 143、 106 |
| 黒色地代帳 (Schwartzzinsbuch) | 98 | |
| 雇用契約簿 (Dienstvertragsbuch) | 116 | |
| 債務帳簿 (Schuldbuch) | 114、 | 128 - 129、 133 - 134、 136、 85 - 86 |
| 商業帳簿 (Handelsbuch) | 141、 | 106 |
| 仕訳帳 (Jornal) | 140 | |
| 秘密帳簿 (Geheimbuch) | 120、 | 124、 133 |
| 帝国議会 (Reichstag) | 118、 | 123、 111 |
| ドイツ人商館 [フォンダコ・デイ・テデスキ] (Fondaco dei Tedeschi) | 110、 | 118 |

ナ 行

布地 (Tuch)

| | |
|--------------------|-----------------------|
| 赤色ピロード (Rot Samet) | 208 |
| 亜麻布 (Leintuch) | 219 |
| エレ (Elle) | 204 - 205、207 - 211 |
| 金糸布地 (Goldfäden) | 207 |
| 仕立て代金 (Macherlohn) | 204 - 205、207、211 |
| シュターメット (Stamet) | 205、209 - 211 |
| タフタ [琥珀織] (Taft) | 205、208 |
| ダマスク織 (Damast) | 205、207、209 - 211 |
| 反物 (Stück) | 230 |
| 二重ラクダ織 (Kamelott) | 208 |
| バルヘント織 (Barchent) | 151、205、207、211 - 212 |
| ピロード (Samt) | 204 - 205、208 - 211 |
| ベルン産 (Bern) | 209 |
| レイデン産 (Leiden) | 204 - 205、208、211 |

八 行

| | |
|--------------------------|---------------------|
| 馬上槍試合 (Turniere) | 212 |
| 旅籠 (Gasthaus) | 131 |
| 病気 (Krankheit) | |
| 萎黄病 (Bleichsucht) | 104 |
| 疫病 (Plag) | 127 |
| 嘔吐 (Erbrechen) | 122、126、128 |
| 潰瘍 (Geschwür) | 109 |
| 骨折 (Knochenbruch) | 130 |
| 小児急癇 (Vergicht) | 110 |
| 身体麻痺 (Lähmung) | 104、111、120、130、132 |
| 頭痛 (Hauptweh) | 128、110 |
| 疝痛 (Grimmen) | 110 |
| 粟粒疹 (Englische Schweiss) | 126 |
| 卒中 (Schlag) | 130 |
| ただれ目 (Triefendes Auge) | 106 |
| 脱腸 (Bruch) | 106 |
| 痛風 (Podagra) | 126、130 |
| 天然痘 (Blatter) | 106、109 |
| 毒素 (Pirole) | 127 |
| 吐血 (Blutbrechen) | 121 |
| 麦角中毒症 (Antonsfeuer) | 144 |
| 発疹 (Ausschlag) | 111、112 |
| 腹痛 (Leibweh) | 119、126 |

| | |
|--------------------------------------|-------------------------|
| ペスト (Pest) | 148、 121、 127、 104、 107 |
| 麻疹 (Masern) | 106、 110 |
| 三日熱 (Fieber Terzana) | 145、 106、 109 |
| 耳鳴り (Ohrensausen) | 128 |
| 四日熱 (Fieber Quartana) | 106 |
| 不正取引 [ヴェルザー商会] (Schändlicher Handel) | 111 - 113 |
| 粉飾決算 (Geschminkter Bericht) | 114 |

マ 行

祭り (Fest)

| | |
|---------------------------|-----|
| 聖ヴィンチェント祭 (St. Vincent) | 146 |
| 聖セバスティアン祭 (St. Sebastian) | 146 |
| 聖マルチン祭 (St. Martin) | 95 |
| 聖ミカエル祭 (St. Michael) | 85 |
| 復活祭 (Osterfest) | 85 |

ヤ 行

| | |
|------------------------|---------------|
| 遺言状 (Testament) | 133 - 134、 98 |
| 遺言状執行人 (Testamentarii) | 134 |

ラ 行

療養 (Heilbehandlung)

| | |
|------------------------------|---|
| アルコール (Tropfen/Wein) | 109 |
| 胃の洗浄 (Purgier) | 104、 119、 121、 127 |
| 浣腸 (Klistier) | 104、 122、 128 |
| 薬 (Provisiones) | 130 |
| 瀉血 (Aderlaß) | 104、 128 |
| 錠剤 [丸薬] (Pille) | 130 |
| 脱腸帯 (Bruchband) | 106 |
| 転地療養 (Kur durch Luftwechsel) | 144 |
| 湯治 (Badekur) | 104、 120 - 121、 129、 130、 132 - 133、 104、 105 |
| 湯治場 (Badeort/Kurort) | 104、 122 - 124、 127、 131 |
| 湯治旅行 (Badereise) | 105、 122、 123 - 124、 127 - 128、 131 - 133 |
| 投薬 (Arznei) | 104 |
| 風呂 (Bad) | |
| 混浴 (Gemeines Bad) | 122 |
| 殿方用大浴場 (Herren Bad) | 112、 124 |
| 蒸し風呂 (Schwitzbad) | 122、 124、 126 - 127、 130 |

| | |
|----------------------------------|-----|
| 養生計画 (Regimen) | 105 |
| リヨン大街道 (Gorsse Lyoner Straße) | 103 |
| レーム家の墓地 (Begrabnisplatz der Rem) | 111 |
| ロード [定期運送馬車] (Rod) | 102 |

地名 (国別) 索引

索引には、その地名が所属する国名の略号 (ドイツはD、低地地方はN、イタリアはI、フランスはF、ポルトガルはP、スペインはS、スイスはSw) を付記した。A市はアウクスブルグ市。

ア 行

| | |
|----------------------------------|---|
| アヴィニオン (F: Avignon) | 142、155 |
| アウクスブルク (D: Augsburg) | 151、153、143、152 - 153、103 - 110、116 - 118、122 - 128、114、119、127、132、134、202、232、87、101、106 - 110、107 - 109、111ff. |
| アキレイア (I: Aguileia) | 129 |
| アサット (F: Assat) | 155 |
| アソレス諸島 (S: Azores Is.) | 149、160 |
| アーヘン (D: Aachen) | 108、125 |
| アラス (F: Arras) | 222 |
| アルヴァラーデ (P: Alvalada) [リスボン市内] | 160 |
| アルヴィジョア地方 (F: Albigeois) | 145 |
| アルガーニエ地方 (Arganie) | 150 |
| アルデンヌ (N: Ardennes) 高原 | 117 |
| アルマーダ (P: Almada) [リスボン市内] | 148 |
| アルネムイデン (N: Arnemuiden) | 152 |
| アルル (F: Arles) | 155 |
| アルロン (F: Arlon) | 107 |
| アンダルシア地方 (S: Andalucia) | 150 |
| アントウェルペン (N: Antwerpen) | 106 - 108、110、112 - 113、117 - 121、123、125 - 128、111 - 113、120、123、230、101、103、107、109 - 110、114、116、118 |
| イエティンゲン (D: Jetingen) | 133 |
| イヤール (D: Iyal im Intal) | 98 |
| イングランド (England) | 149、151 |
| インド (India) | 146 - 148、161、112 - 113、122 |
| ヴァイセンホルン (D: Weißenhorn) | 129 |

| | |
|--|---|
| ヴァイル (D: Weil) | 124、127、131、133 |
| ヴァッサーブルク (D: Wasserburg) | 126 |
| ヴィチェンツァ (I: Vicenza) | 140 |
| ヴィルフランシュ [・シュル・メール] (F: Villefranche) | 155 |
| ヴェネツィア (I: Venezia) | 151、139ff.、114、102、108、107、110、116、118 |
| ヴェリンゲン (D: Weringen)[A市の近郊 (南部)] | 89、91 |
| ヴェルタッハ (D: Wertach)[ケンプテン市の南部] | 96 |
| ヴェルチェルリ (I: Vercelli) | 141 |
| ヴォルムス (D: Worms) | 118、121、125 |
| ウルム (D: Ulm) | 152 - 153、152、108 - 111、117 - 118、121 - 125、130、133、117、121、131 - 132、229、102、104、106、113、107 - 108、114 |
| エスリンゲン (D: Eßlingen) | 107、117、123 - 127、131 - 133 |
| エプファハ (D: Epfach)[A市の近郊 (南部)] | 89 |
| エール (N: Aire) | 108 |
| エルバス (P: Elvas) | 101 |
| オットマルスハウゼン (D: Ottmarshausen)[A市の近郊 (南部)] | 89、90 |
| オルレアン (F: Orleans) | 156 |

カ行

| | |
|------------------------------------|-----------------------|
| ゲイスリンゲン (D: Geislingen) | 124、127、131 - 132 |
| カウフボウレン (D: Kaufbeuren) | 215 |
| カシリャス (P: Cacilhas) | 148 |
| カスカイス (P: Cascais)[リスボン市の外港] | 150 |
| カスティージャ地方 (S: Castilla) | 112 |
| カナリア諸島 (S: Canarias Is.) | |
| ラ・パルマ島 (La Palma Is.) | 156、158 - 159、113 |
| ガリーシア地方 (S: Galicia) | 157 |
| カルヴァラーダ (P: Calvalada)[リスボン市内] | 148 |
| カルプ (D: Kalb) | 122、124、127、131、133 |
| カレー (F: Calais) | 108 |
| カンヌ (F: Cannes) | 155 |
| キッシンゲン (D: Kissingen)[A市の近郊 (南部)] | 86、88 - 89、92、94 - 95 |
| ギュントブルク (D: Güntzburg) | 123、127、129、132 |
| グラス (F: Grasse) | 155 |
| クルムバード (D: Krumbad) | 104 |
| ゲッピンゲン (D: Göppingen) | 117 |

ケルン (D: Köln) 152、 107 - 110、 118 - 126、 101、 104
コンスタンツ (D: Konstanz) 103、 105

サ 行

サヴォア (F: Savoie) 144
サヴォーナ (I: Savona) 154
サラゴサ (S: Zaragoza) 145 - 146、 102、 105、 112
サラマンカ (S: Salamanca) 146
サルス (F: Salses) 103
ザルツブルク (D: Salzburg) 126
サン・アントーニオ (F: Sct. Antonio de Vienes) 144
サン・エレン (P: Sct. Erren)[王宮] 101
サン・クロード (F: St. Claude) 103
サン・トメール (N: St. Omer) 108
サン・ニコラス・ポルト (F: St. Nicolas d. Port) 107、 117
サン・バウム (F: Sct. Baume) 155
サン・マリア・サラモン (F: St. Maria Salamone) 155
ザンクト・リーンハルト (D: St. Lienhart) 116
サンタ・カタリーナ (P: St. Catarina)[リスボン市内] 160
サンタ・マリア・デ・グアダルーペ (S: St. Maria de Guadalupe) 102
サンタ・マリア・デルース (P: Sta. Maria Deluz)[リスボン市内] 148
サンタ・マルタ (S: St. Marta) 157
サンティアゴ・デ・コンポステラ (S: Santiago de Compostela) 151、 157
サント・マキシム (F: St. Maximin) 155
ジェノヴァ (I: Genova) 154、 114
シェルメック (F: Schirmeck) 107
ジャコビ (jacob)[場所不明] 155
ジュネーブ (Sw: Geneve) 143 - 145、 103、 106
シュパイヤー (D: Speyer) 152、 118、 121、 123、 125
シントラ (P: Sintra)[王宮] 157
ストラスブール (F: Strasbourg) 107、 111、 117
スペイン (S: Hispania) 121、 126、 129 - 130、 132、 135、 112 - 115
スヘルデ川 (N: der Schelde) 142
セイセール (F: Seyssel) 144
セゴビア (S: Segivia) 113
ゼーラント地方 (N: Seeland) 152、 157
ソリア (S: Solia) 146

タ 行

タラスコン (F: Tarascon) 155

| | | |
|------------------------------------|------|-----------------------------|
| ダンケルク (F: Dunkerque) | 108 | |
| ダンジネス岬 (E: Cope Dungeness) | 151 | |
| チビタベッキア (I: Civitavecchia) | 154 | |
| チューリヒ (Sw: Zürich) | 145 | |
| ディートフォルト (D: Dietfort) | 122 | |
| ディリンゲン (D: Dillingen a.d. Donau) | 153、 | 109、118、122、125、 128、212 |
| デュレン (D: Düren) | 125 | |
| テルーアンヌ (F: Therouanne) | 108 | |
| 東方 (バルト海沿岸) 地域 (D: Ostlande) | 149 | |
| トゥール (F: Tours) | 142 | |
| ドナウヴェルト (D: Donauwörth) | 116、 | 124 |
| トリアー (D: Trier) | 111 | |
| トリノ (I: Torino) | 141 | |
| トレヴィーゾ (I: Treviso) | 153、 | 102 |
| トレド (S: Toledo) | 145 | |
| トレント (I: Trento) | 153 | |
| トロサ (S: Tolosa) | 145 | |

ナ 行

| | | |
|-------------------------------------|--------------------|---|
| ナバーラ (S: Navara) | 145 | |
| ナムュール (N: Namur) | 107、 | 111、117 |
| ナルボンヌ (F: Narbonne) | 103 | |
| ナンシー (F: Nancy) | 107 | |
| ニーウポールト (N: Nieuwpoort) | 108 | |
| ニース (F: Nice) | 155 | |
| ニーム (F: Nimes) | 103 | |
| ニュルンベルク (D: Nürnberg) | 116、122 - 123、126、 | 121、217、 229、107、107、109、114、116、118 |
| ネーデルラント [低地地方] (N: Nederlanden) | 149、 | 118 |
| ネルトリンゲン (D: Nördlingen) | 124、 | 129 |

ハ 行

| | | |
|----------------------------------|----------|---------|
| バイセンブルク (D: Weisenburg) | 116、 | 124 |
| バストーニュ (N: Bastogne) | 107、 | 117 |
| バダホス (S: Badajoz) | 101 | |
| バチカン (I: Vatican) | 154 | |
| バツ島 (F: Batz Is.) | 151 | |
| バーデン (Sw: Daden) [チューリヒの北西部] | 105 | |
| パドヴァ (I: Padova) | 140、153、 | 108、118 |

| | |
|---|---|
| バートライヘンハル (D: Bad Reichenhall) | 126 |
| バーバリー [マグレブ] 地方 (Barbary) | 149 |
| ハライン (D: Hallein) | 126 |
| バランシエンヌ (N: Valenciennes) | 156 |
| パリ (F: Paris) | 142、 106 |
| バルセロナ (S: Barcelona) | 103 |
| バレンシア (S: Valencia) | 146 |
| ビヴェイロ (S: Viveiro) | 157 |
| ビエンヌ (F: Vienne) | 144、 103 |
| ビーベル (D: Biber) | 89 |
| ファイヒンゲン (D: Vaihingen) | 117 |
| フィレンツェ (I: Firenze) | 114 |
| フェルトキルヘン (D: Feldkirchen) | 105 |
| フェロル (S: Ferrol) | 157 |
| ポルツハイム (D: Pforzheim) | 107、 117 |
| ブラウナウ (D: Braunau am Inn) | 109 |
| フラーガ (S: Fraga) | 102 |
| ブラーバント地方 (N: Brabant) | 106、 113、 116 |
| フランクフルト・アム・マイン (D: Frankfurt am Main) | 107、 118、 123、 128 - 129、 132、 113、 115、 125、 128、 101、 104、 114 |
| フランス (F: French) | 114、 118 |
| フランデレン [フランドル] (N: Flandern) | 157 |
| フリッシンヘン (N: Vlissingen) | 157 |
| フリブール (Sw: Fribourg) | 143 - 145、 103、 105 |
| ブルージュ (F: Bourges) | 142、 156 |
| ブルターニュ (F: Bretagne) | 149、 151 |
| ブルッヘ [ブリュージュ] (N: Brügge) | 157、 106 - 108、 118 |
| ブリュッセル (N: Brussel) | 156、 106、 110 - 111、 117 - 118、 104 |
| フルラッハ (D: Hurlach) [A 市の近郊 (南部)] | 89、 91 |
| ブロワ (F: Blois) | 142 |
| フンスリュック山地 (D: Hunsrück) | 125 |
| ベルデ岬諸島 (P: Cabo Verde Is.) | 149 |
| ペルピニャン (F: Perpignan) | 103 |
| ベルヘン・オブ・ゾーム (N: Bergen op Zoom) | 152、 157、 106 - 107、 117 - 119、 123、 113 |
| ベルン (Sw: Bern) | 143 - 145、 103、 105 |
| ボニュー (F: Bonnieux) | 144 |
| ボルツァーノ (I: Bolzano) | 153 |
| ポルト (P: Porto) | 150 |
| ポルトガル (Portuguese) | 149、 114、 132、 114、 116 |

マ 行

| | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| マインツ (D: Mainz) | 108、 110 |
| マーストリヒト (N: Maastricht) | 108 |
| マダガスカル島 (Madagascar Is.) | 148 |
| マデイラ諸島 (P: Madeira Is.) | 149、 156、 158、 160、 113 |
| カーポ・サンクト (Capo Sancto) | 158 |
| フンシャル (Funchal) | 159 |
| ポルト・サント島 (Port Santo Is.) | 158 |
| マチコ (Machico) | 159 |
| マドリード (S: Madrid) | 102 |
| マルセイユ (F: Marseille) | 155 |
| ミッデルブルフ (N: Middelburg) | 152、 157、 106 - 107 |
| ミュンヘン (D: München) | 124 - 126 |
| ミラノ (I: Milano) | 140 |
| ムーラン (F: Moulins) | 142、 156、 106 |
| メジナセリ (S: Medinaceli) | 102 |
| メス (F: Metz) | 152、 107、 117 - 119、 123、 125、 102 |
| メヘレン (N: Mechelen) | 106 - 107、 204、 104 |
| メディナ・デル・カンポ (S: Medina del Campo) | 146 |
| メミンゲン (D: Memmingen) | 103、 105、 109 |
| メルゲンタウ城 (D: Mergentaw schloß) | 95 |
| モンスニ峠 (F: Pass de Monte Cenis) | 141 |
| モンセラート (S: Montserrat) | 103 |
| モンデーゴ岬 (P: Cabo Mondego) | 150 |
| モンテルダーン (I: Monterdon) | 153 |
| モンハイム (D: Monheim) | 116 |
| モンフォルテ (P: Monforte) [エルバスの北西] | 146 |
| モンペリエー (F: Montpellier) | 103 |

ラ 行

| | |
|-----------------------------|----------------|
| ライプハイム (D: Leipheim) | 153、 139 |
| ライン河 (D: der Rhein) | 125 |
| ラインバハ (D: Rheinbach) | 125 |
| ラグナ (D: Lagna) | 89 |
| ラ・コルーニャ (S: La Coruna) | 150 - 151 |
| ラーシュタット (D: Rastadt) | 107 |
| ラステラ (Rastel) | 150、 157 |
| ラーフェンスブルク (D: Ravensburg) | 104 - 105、 121 |

| | | |
|---|------------|--|
| ラングドック (F: Languedoc) | 103、 | 143 |
| ランツフト (D: Landshut) | 108 | |
| リスボン (P: Lisbon/Lisboa) | 146 - 148、 | 150、 156 - 158、 160、 101、 113、 112、 114、 121 - 122、 107 |
| リートハイム (D: Riethaim) | 153、 | 139、 109 |
| リヨン (F: Lyon) | 141 - 145、 | 156、 103 - 104、 106、 111 - 112 |
| リンダウ (D: Lindau) | 105、 | 125 |
| ルーアン (F: Rouen) | 142 | |
| ルーヴェン (N: Leuven) | 106 - 107 | |
| ルミアール (P: Lumiar) [リスボン市内] | 148 | |
| レイデン (ライデン) (N: Leyden) | 204 - 205、 | 208 |
| レッヒ河 (D: der Lech) | 90 - 91、 | 95 |
| レマーゲン (D: Remagen) | 125 | |
| レリダ (S: Lerida) [カタルーニャ地方都市] | 103 | |
| レンス (D: Rhens) | 125 | |
| ロイトリンゲン (D: Reutlingen) | 117 | |
| ロスコフ (F: Raschon) | 151 | |
| ローゼナウ (D: Rosenau) | 96 | |
| ロート (D: Roth) | 116 | |
| ローヌ河 (F: Rhone) | 144 | |
| ローマ (I: Roma) | 154、 | 114 |
| ロレート (I: Loreto) [イタリア中部マルケ州] | 154 | |
| ロンセヴァール山脈 (S: Roncesvalles) | 145 | |
| ロンセスヴァーリエス峠 (S: Pass de Roncevalles) [イバニユタ峠] | 145 | |